

第316号

いたばし町連

板橋区町会連合会

発行 板橋区町会連合会
東京都板橋区板橋2-66-1
板橋区役所区民文化部
地域振興課気付
電話 03-3579-2163
会長 平塚 幸雄
編集 板橋区町会連合会広報部
印刷 株式会社三六工芸印刷社
東京都板橋区蓮沼町34-14
電話 03-3969-0361



来賓の前で勇壮な太鼓演奏(蓮根)



高田町連副会長挨拶(仲町)



演奏で式典を盛り上げ(桜川)



平塚町連会長挨拶(富士見)



桜を背景に式典(常盤台)

開催にあたっては、町会連合会支部・青少年健全育成地区委員会・「エコポリス板橋」地区環境行動委員会が中心となり、板橋区、板橋区観光協会、警察、消防、小・中学校、同PTA、地元商店会、交流都市など様々な機関・団体等

区内の公園や小・中学校を会場として、地域住民の親睦と交流を図るため、桜まつりが開催された。東京では3月25日にソメイヨシノが開花し始めたため、まつり開催日によって満開とそうでない地区との差はあったが、全10地区で実施できた。



カンザクラが見ごろ(富士見)

地域の親睦と交流を
10地区で桜まつりを開催



満開の桜(常盤台)

各地区の会場では、多数の来賓を迎えて式典が行われたほか、太鼓・吹奏楽・三曲の演奏や、舞踊・カラオケなどが披露された。

3月16日(日)は雨天であったが富士見地区では会場を変更して実施できた。22日(土)は桜川地区、23日(日)は板橋・仲町・志村坂上・蓮根・前野地区、30日(日)は常盤台・舟渡・徳丸地区で、それぞれ晴天に恵まれ、盛大に催された。



子ども達も元気なダンスを披露(志村坂上)



榎本町連副会長挨拶(徳丸)



会場に向かう人波(舟渡)



山田支部長挨拶(前野)



坂本区長挨拶(板橋)



式典で町連会長挨拶



満開の梅の花

このまつりは、昭和60年に第一回が開催された。梅まつりを継続するために、下赤塚・成増・徳丸地区の町会支部・青健地区委員会・環境行動委員会が力を合わせて、梅の開花状況への対応など様々な試行錯誤を重ねながら運営している。

3月1日(土)に、第39回赤塚梅まつりが区立赤塚溜池公園及び隣接する赤塚城址(都立赤塚公園)で開催された。公園内の約150本の白梅・紅梅のほか、城址にも梅林があり、延べ8千5百人の来場者は、満開の梅の花と香りを満喫していた。

自然と歴史と文化の里・赤塚
赤塚梅まつり

また、舞台では、式典に先立ち、箏の演奏、南無、フラダンスとバンド演奏、小学

会場内では、実行委員会による甘酒の無料配付(千人分)をはじめ、中学生による野点、交流都市である和歌山県みなべ町や参加団体の模擬店、各種団体の配布PRや物品の配布が行われた。

続いて、子どもたちが戦国武者や姫君に扮しての赤塚城戦国絵巻武者行列が行われ、着到状の読み上げ後、陣羽織姿の坂本区長らとともに、陣の声を上げ、赤塚城址に向けて歩を進めた。赤塚城址では、9年ぶりとなる鷹匠演武があり、青空を悠々と飛ぶ鷹の雄姿に観客の方々は見とれていた。

また、午後1時から行われた式典では、小日向克昭実行委員会会長(町連成増支部長)の主催者挨拶、坂本健区長・田中やすのり区議会議員・平塚幸雄町連会長の祝辞、都議会議員・区議会議員等多数の来賓紹介、並びに関係者紹介があった。

生による大江戸ダンス、太鼓、中学生による吹奏楽が披露され、たくさんの方の親子連れが鑑賞していた。



箏の演奏



中国武術の演舞



来場者で賑わう会場

板橋支店 ☎3961-1601
常盤台支店 ☎3960-0121
志村支店 ☎3960-2131
成増支店 ☎3938-0151
東武練馬支店 ☎3935-2111
幸町支店 ☎3959-1171
板橋栄町支店 ☎3961-5111
東新町支店 ☎3958-8811
高島平支店 ☎3937-2111
新高島平支店 ☎5997-1211
小竹向原支店 ☎3554-5511

喜ばれることに喜びを
巣鴨信用金庫

東京23区指定清掃事業
一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
し尿浄化槽・仮設トイレ清掃業

TAISEI 太盛運輸株式会社

代表取締役 小泉 雅義 東京都板橋区舟渡2-10-3
☎(3969) 8196 (代表) FAX (3558) 8593 ごみのことならお気軽にご相談下さい

町会・自治会に加入しましょう!! (町会・自治会は、地域に住む人たちが、明るく住みよい町づくりをめざして、地域におけるいろいろな問題の解決に取り組んでいる自主的団体です。)

部会等報告

総務部

4月14日(月)午後2時から総務部会(井上勝部長)が開催された。井上部長の開会の辞、榎本進副会長の挨拶を経て議事に入った。

会議は部長の司会で進められ、定期総会に提出する令和6年度町会連合会事業報告・住民防災組織育成事業報告及び同決算、令和7年度町会連合会事業計画(案)・住民防災組織



総務部会の様子

町連監査会

4月14日(月)午後4時から、町連会長・副会長・会計・監事が出席して、令和6年度町会連合会一般会計及び特別会計の監査会が開催された。

平塚幸雄会長の挨拶後、令和6年度決算概要の説明があり、引き続き、会計関係帳簿及び証拠書類を監事が厳密に審査した。



監査結果を報告する大戸監事

町連定期総会は5月29日開催

令和7年度町会連合会常任理事会・定期総会の開催日程は次の通りです。各会議の対象となる方はご出席願います。

町会連合会常任理事会 5月13日(火)午前10時から、区役所北館9階 大会議室Aにて開催。

なお、今年度は役員改選期であるため、常任理事会後に町連役員選考委員会が開催され、役員候補者の選定を行う。

町会連合会定期総会 5月29日(木)午後2時から、区役所北館9階 大会議室Aにて開催。

*午後4時から、ハイライフプラザに会場を移して、懇親会を行う。

避難所開設・運営訓練(桜川地区)

2月24日(月・祝)に桜川地区で避難所開設・運営訓練が実施された。

昨年9月1日に桜川地区にて、東京都・板橋区合同で大規模な防災訓練を実施する予定だったが、台風10号への対応のため中止となった。本日は同地区で避難所開設・運営訓練の部分を実施する形となった。

訓練の想定は、区内で最大震度6強の大地震が発生したというもので、参加者は各町会の一時集合場所に集合し、避難所である桜川中学校へ参集した。事前に参集していた避難所長や名簿管理担当者等が備蓄倉庫から避難



避難者の受け入れの様子



階段で間仕切り等機材運搬



体育館に間仕切りで避難スペース設置

の班でも町会の方々が協力しながらきびきびと資材の運搬や設営、調理などの活動を行っていた。

最後に体育館にて消防署主催の救命救護訓練と講習があり、各町会へ炊き出し食糧等を支給し、実り多い体験となった一連の訓練は終了した。



炊き出し班はやきとりご飯を調理

「助け合い・支え合いの地域づくりセミナー」

3月4日(火)午後2時から、区立文化会館大ホールにて「第3回助け合い・支え合いの地域づくりセミナー」が開催された。

第1部の実践報告では、支え合い会議清水と支え合い会議志村の構成員がそれぞれ壇上のスクリーンを活用し、取り組み報告を行った。

第2部の講演では、日本社会事業大学社会福祉学部教授の菱沼幹男氏が「私の力を、私たちがの力に」Win Winの地域づくりに向けて」と題し、支え合い活動の意義や、地域に必要な活動・人材の明確化などについて話され、聴衆は熱心に聞き入っていた。



第1部の報告の様子



第1層協議体メンバー(一部)

板橋区の人事異動

4月1日付で定例の板橋区職員人事異動があった。新任部課長、町会・自治会活動に関係の深い地域振興課等新任者(抜粋)は次のとおり(敬称略)

統括部長

技監・波多野真樹

部長級

政策経営部参事(財政課長事務取扱・大森恒二、総務部参事(人事課長事務取扱)・小林惣、危機管理部長・遠藤宏、健康生きがい部長・三浦康之、保健所長(赤塚健康福祉センター)医

科担当係長事務取扱・長嶺路子、資源環境部長・雨谷周治、地域教育力担当部長・金子和也、選挙管理委員会事務局長・水野博史、監査委員事務局長・諸橋達昭、区議会事務局

長・渡辺五樹

課長級

政策経営部 経営改革推進課長・保泉正憲、IT推進課長・東英成、施設経営課長・千葉亨二

総務部

総務課長・加藤豊、契約管財課長・早川和宏、区政情報課長・荒井和子

区民文化部

地域振興課長・折原孝、戸籍住民課長・松崎英司、文化・国際交流課長・高田智也

産業経済部

くらしと観光課長・平田理隆、産業戦略担当課長・山川信也

健康生きがい部(保健所)

介護保険課長・大野真澄、後期高齢医療制度課長・北村知子、健康推進課長・太田弘晃、高島平健康福祉センター所長・岩田雅彦

福祉部(福祉事務所)生活支援課長・福祉部生活支援臨時給付金担当課長(兼務)・小田健司、生きがい政策課長・佐久本佳子、赤塚福祉課長・花井一郎、志村福祉課長・齋藤栄

子ども家庭部(子ども家庭総合支援センター)保育運営課長・澤邊涼、保育サービス課長・森弘、子ども家庭部法務担当課長・藤冲彰

資源環境部 板橋西清掃事務所長・関根昭広

都市整備部

都市計画課長・伊東龍一郎、建築安全課長・加藤剛史

土木部

工事設計課長・田中秀崇、かわまちづくり計画担当課長・吉田亘、公園整備担当課長・志村昌彦

教育委員会事務局

教育総務課長・久保田智恵子、学務課長・小林晴臣、学校配置

新館(板橋区協定斎場)寝台車(営業車)24時間

株式会社 **正美堂**

(本館有り) **大村葬儀社**

0120-88-5683

相談コーナー **03-3966-5683**

板橋区志村3-1-16

生前予約承ります

区民葬 家族葬一式

福祉葬 都職

板橋青色申告会

郵政福祉

24時間霊安室有(冷蔵庫有り)

協定斎場2日間8万円(区内)

協定斎場2日間10万円(区外)

CATERING SERVICE

…美味しいお料理とサービス
まごころと信頼をお届けします…

セントラルフーズさんいち株式会社

本店: ☎03(5943)5531 FAX03(5943)5532

大山店: ☎03(3579)8531(板橋区立グリーンホール内)

こども **いたばし** 子どもの居場所

子育て家庭への食品を募集!

こどもの食育や
自立を防ぐ居場所
づくりを応援
しています。

子ども食堂 学習支援 多世代交流 居場所支援

社会福祉法人板橋区社会福祉協議会

☎ kodomo@itabashishakyo.jp Tel. 3964-0236

創業昭和12年、板橋と共に。

賃貸住宅経営・不動産売買・管理・設計・施工
リフォーム・お部屋探しは

代表 **03-3975-6222**

株式会社 **ナミキ** **clao clao house** 板橋区成増 3-12-1



中学生による吹奏楽演奏



山口支部長の主催者挨拶



テントに人だかり

その最大の特徴は、自生の草木を鑑賞すること。このまつりは、さくら草の栽培・展示・配布によって緑化意識の高揚を図るとともに、住民・学校など地域ぐるみの運営・参加で親睦・交流を深めて、明るいまちづくりを推進することを趣旨として、平成元年から実施されている。

第37回目となる中台地区さくら草まつりが、3月2日(日)、若木小学校を会場として開催された。晴れ渡り暖かい陽ざしの中、校庭の中央には約2,500鉢の美しく可憐なさくら草が飾られて、華やかに来場者を出迎えていた。

このまつりは、さくら草の栽培・展示・配布によって緑化意識の高揚を図るとともに、住民・学校など地域ぐるみの運営・参加で親睦・交流を深めて、明るいまちづくりを推進することを趣旨として、平成元年から実施されている。



子どもたちが元気なダンスを披露



古木支部長挨拶



見事な作品展示(その2)



見事な作品展示(その1)



町会・自治会ごとに整列



避難完了報告

当日の午前9時30分には、防災行政無線を使って坂本健区長から、日頃の備えとして「家具の転倒防止など身の周りの安全を確保すること、ご自宅飲料水や食糧などを備えておくこと、そして災害時に一人でも多くの命を救うためにご近所・地域とのつながりを深めることが大切で

当日の午前9時30分には、防災行政無線を使って坂本健区長から、日頃の備えとして「家具の転倒防止など身の周りの安全を確保すること、ご自宅飲料水や食糧などを備えておくこと、そして災害時に一人でも多くの命を救うためにご近所・地域とのつながりを深めることが大切で



スタンドパイプ放水訓練

放水訓練では、若木小学校ではプールから水を引き、志村第五小学校では校内の屋内消火栓から水を引き、志村消防団の主導で放水訓練を行った。

~最も身近で、最も頼りにされる金融機関を目指して~

皆様の役にたつ東京信用金庫

板橋支店	板橋区板橋2-67-8	☎ (3961) 5371 (代)
大山支店	板橋区大山町22-5	☎ (3956) 1161 (代)
志村支店	板橋区小豆沢1-11-7	☎ (3966) 0136 (代)
志村坂下支店	板橋区東坂下2-16-4	☎ (3968) 0481 (代)
成増支店	板橋区成増1-29-7	☎ (3930) 7136 (代)
上板橋支店	板橋区桜川3-21-11	☎ (3559) 1491 (代)

お葬式なら 24時間365日受付

SR 自由設計 セレモニー ソーレスト

フリーダイヤル 0120-6556-18

家族葬専用式場あります お葬式セミナー 毎月10日開催

有楽町線・副都心線の池袋駅から徒歩3分目「小竹向原駅」徒歩5分・環七沿い (本館・別館) 板橋区小茂根4-25-3

第37回中台地区さくら草まつり

熊野地域センターまつり

板橋区総合防災訓練

第20回熊野地域センターまつりが3月1日(土)・2日(日)の2日間にわたり開催された。地域センターまつりは、センターの集会所や管内の区民集会所を利用しての団体の日頃の活動成果の発表の場として、また、仲間づくりにより地域コ

ミニニティの活性化に資することを目的として開催している。作品展は、二日間とも開催。開催の前日に設営し、10団体約50人の見事な作品(華道、書道、3Dアート、手芸作品など)が、会場2階に展示され、来場する方々も堪能していた。2日(日)は、会場3階で開会式が行われた。古木勝利支部長(実行委員会会長)の主催者挨拶、尾科善彦副区長(区長代理)の祝辞、来賓紹介などが行われた後、芸能の部の幕開けとなった。団体と個人参加者合わせて総勢120名の出演者によって、太鼓、カラオケ、詩吟、合唱、楽器演奏、ダンスなど、芸達者

3月9日(日)に板橋区総合防災訓練が区内18地区で実施された。昨年は、1月1日16時10分に石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県で最大震度7を記録した。津波、家屋の倒壊、火災等の激甚な災害は、新

年早々、私たちに大きな衝撃を与えたところであり、防災訓練等による日頃の備えや近隣住民との協力関係づくりの重要性をあらためて考えさせられた。区総合防災訓練は、防災関係機関及び住民が一体となって実施することにより、板橋区地域防災計画の内容を習熟するとともに、相互の協力体制を緊密にすること、また、地震に対する日頃の備えについての啓発と、災害発生時における適切な行動力の向上、災害に強い対応力を備えた区民の育成を図ることを目的としている。

訓練の想定は、東京都で最大震度7の大地震が発生し、板橋区内でも家屋の倒壊や火災が起きて混乱が生じているという状況。訓練内容は地区によって多少の差異はあるが、①各家庭で身の安全の確保と火の始末(ブレーカー遮断等)をした後、一時集合場所に参集、②災害状況の情報収集に協力し、安全な避難路により、住民防災組織本部長(町会自治会長)等の誘導で訓練会場に移動、③住民防

す。」とのメッセージが区内全域に流された。訓練の実例として、中台地区では、板橋区立若木小学校と板橋区立志村第五小学校の2か所を会場として、管内の町会・自治会を4班(初期消火訓練、スタンバイ訓練、応急救護訓練、AED救命訓練)に分け、最後に全体で放水訓練を体験する方式で実施された。初期消火訓練では、消火器を使用し、火事を周囲に知らせ、消火器を火元に運び、噴射する訓練を行った。スタンバイ訓練では、道路上にある消火栓を使用し、スタンバイパイプを利用した放水訓練を行った。

応急救護訓練では三角巾を用いた応急手当の実技指導を行った。AED救命訓練では、人形を使い、心肺蘇生法とAED使用訓練を行った。放水訓練では、若木小学校ではプールから水を引き、志村第五小学校では校内の屋内消火栓から水を引き、志村消防団の主導で放水訓練を行った。

最後に区代表(若木小学校のみ)、消防署、避難所長、会場校長による講話があり、各町会・自治会へ救助物資を支給し、訓練は終了した。

支部ニュース

富士見

「令和7年(第3回)富士見さくらの小径まつり」

3月16日の富士見さくらの小径まつりは数日前から雨の予報が出ていたため会場を屋内に変更して実施をしました。カンザクラが見頃を迎えていましたが当日は気温が低く、雨天での開催となりました。しかし会場ではステージ公演やキッチンカー、フリーマーケット、子どもの広場など、多くの来場者で賑わい熱気に包まれていました。

今回は、毎年富士見

心から感謝申し上げます。富士見支部長 田中正己



ステージ公演風景



急遽販売した大船渡産わかめ

志村坂上

「志村坂上地区桜まつり」

3月23日(日)に小豆

沢野球場において「志村坂上地区桜まつり」を開催しました。

初夏を感じさせる汗ばむほどの陽気でしたが、会場全体は「まつり」を楽しみ多くの人で溢れかえりました。各町会や商店街の売店コーナーでは、それぞれ自慢の味を競い合い、焼きそばやかき氷など行列もできて大盛況でした。

ステージでは、午前中に地域の子どもや中学生によるバントワリング、ダンスが披露され、午後には、バンド演奏、日本舞踊、歌唱などの各町会の「その道のプロ」による芸能大会が行われ、それぞれの熱演に対して歓声もあがり、大変盛り上がり



大盛況の売店コーナー



多くの人で賑わう会場

成増

「赤塚梅まつり」

赤塚溜池公園には約百五十本の梅の木が植樹されている。

この時期は春光を浴びた梅の花がほのかに香り、公園内をロゼカラーに染めている。

第三十九回目を数える「赤塚梅まつり」が、三月一日に開催された。

天候にも恵まれ、気温は二十度に迫った。

この梅まつり、実は町連下赤塚・成増・徳丸の三支部が主催であるため、今年は各支部で美味しいものをそれぞれ持ち寄って販売していることと初の試みを実施した。下赤塚支部はワイン、豚汁、おでん、成増支部はおにぎり、



支部の売店コーナー

唐揚げ、ハイボール、徳丸支部は焼きそば、焼き鳥、磯部餅など大繁盛だった。もちろん、無料の甘酒先着一千人分も即配布終了となった。



無料配布の甘酒コーナー

いたばしの文化財②

今回は郷土芸能である祭り囃子を紹介してまいります。祭り囃子とは祭の気分を盛り上げるために演奏する音楽のことで、現在板橋区では無形文化財「祭り囃子」の保持団体として神田流弥生囃子保存会と神田流神明囃子保存会が指定されている。祭り囃子の板橋区域への伝播は江戸末期のこと、主に三つのルートがある。一つ目は江戸末期に上板橋宿(現弥生町)の建具職人石田滝蔵が神田で修行した際に神田明神の祭礼で演奏される神田囃

祭り囃子

公文書館専門員 畠山 聡

れを地元で伝えたといふもので、現在の赤塚の下寺家囃子に連なっている。そして三つ目は栗原佐吉氏が祭り囃子の復活を目指して熱心に地元の若者や子供

ころもあつたが、中断したままのところもあつた。上板橋宿周辺では滝蔵の直弟子である栗原佐吉氏が祭り囃子の復活を目指して熱心に地元の若者や子供

らを指導している。彼らが中心となつて後に結成されたのが先に紹介した二つの保存会である。祭り囃子は大太鼓一人、締太鼓二人、笛一人、鉦一人の五人一組で演奏されるのが基本である。各楽器の役割は締太鼓が曲の主リズムを担当し、大太鼓が締太鼓のリズムのあい間を打ったり、揃って打ったりすること曲にメリハリを付ける。笛はメロディーを担当するとともに、指揮者としての役割も果たしている。そして鉦はメロディーに合わせることで囃子を引き立てているのである。演奏の

曲は、神田囃子では屋台―昇殿(聖殿)―鎌倉―仕丁目(仕丁舞)―玉入れ―屋台の順が一般的であるが、神明囃子保存会ではこれに葛西囃子で演奏される「間もの」の曲を鎌倉の後に入れて演奏するなど独自色を出している。



神田流神明囃子(板橋区教育委員会提供)



神田流弥生囃子(板橋区教育委員会提供)

町連文芸

俳句

板橋区俳句連盟監修

早春の犬の散歩着まだ脱げず
上板橋 宝田 豊

下山路のひいふうなや路の臺
大山金井町 松島 精一

図書館へ通う坂道薄暑かな
大谷口北町 岩井 佑基

遠くより雨の山吹がすみおり
志村三丁目 峯岸 直子

若木 四俣 義一

短歌

一ノ瀬 美智子選

傷ついた鴉のように横たわる
壊れた傘に雪がなみ降る
高島平 戸田 哲也

女学生のバッグにつけたラフット
賑やかに揺れるくまきるパンダ
中台 長野 恵子

ど派手なる夫婦喧嘩にワッポめが
我に噛みつき夫たか笑い
志村 境 加代

角巻をふるいて粉雪はらいたる
むかしを想う故郷の豪雪
赤塚新町 多田 玲子

人生はつづら折りして下りゆく
麓につくのにもう少しあり
清水町 大塚 トモ子

快適ライフのアドバイザー

多様化するニーズに対応するため
これからもアイデーマンは躍進していきます



IDグループ 株式会社 石井電気

tel:(03)3973-8529 fax:(03)3959-6067

電気設備設計施工 空調設備設計施工 床暖房工事
東京都板橋区南常盤台 1-11-9 IDビル

少人数のご葬儀から社葬まで承ります



常盤葬祭有限公司 大村葬儀社

TEL.3956-1131

事務センター 板橋区南常盤台 1-36-8

葬儀式場 ときわ会館 第二式場 第二式場

併設の第三ホールにて法要等も承っております

24時間
ご用命
承ります